# 運輸サービス部会 2011年の上期回顧と下期の展望

岐部ルイス

2011.08.23

# 2011年の上期回顧

- 物流業界全般
  - □ 空港・港湾ともインフラ整備は貨物量の増加に追いつかず
  - □ 人材不足から給与レベルが高騰
- 航空業界
  - □ 国内・国際とも需要増
- 海運業界
  - □コンテナ船 → 輸入大幅増、輸出横ばい
  - □不定期船 → 鉄鉱石はほぼ前年並み
- ホテル旅行業界
  - □旅行需要の拡大
- 通信、IT業界
  - □携帯電話の加入者の増加、IT業界は好調

# 物流業界 依然インフラ弱い



- ■空港
  - □ GRU空港輸入貨物増加も問題見えず → VCP空港へシフト → コスト高
- ■港
  - □混雑は変わらず
  - □依然 貨物量増加 → 事故比例増加
  - □(サントス)車両待機エリアの整備で若干改善
- 陸上 貨物量増加→車両不足→運賃上昇
- 給与レベルの高騰によりコスト高を招き収益性を圧迫

# 航空業界 国内·国際共需要增

- ■旅客
  - □国内線 → 中間層の利用拡大により需要増
  - □国際線 → レアル高の影響も加わり需要増
- ■貨物
  - □航空運賃が高騰
  - □輸入は慢性的なスペース不足が続く
  - □レアル高で輸出は苦戦







- コンテナ船
  - □輸入大幅増(対前年比 17%増)
  - □特にアジアからの貨物量が増加 (20%増)
  - □輸出量は略横ばい

- ばら積み不定期船
  - □鉄鉱石中国輸出は前年比若干増
  - □ 運賃マーケットは需給関係により軟化

### 旅行、ホテル業界



- 旅行需要の拡大
  - □ 国内到着便 → 3.794万人(20,7%増)
  - □ 国外到着便 → 436万人(18,9%増)
- ホテル業界は好調
  - □ 客室稼働率 → 70%
  - □ 平均ルームレート → R\$200,90

# 通信、IT業界



#### ■ 通信業界

- □ 携帯電話加入者数: 2億1734万台、81,85%がプリペイド 方式
- □ 3G加入者数: 2.662万台

#### ■ IT業界

- □IT投資
  - ■サーバー仮想化
  - 業務アプリケーション
  - 新規ビジネス向けのIT環境の整備
- □ イーコマースの売り上げ: R\$84億レアル

### 2011年下期の展望

- 物流業界全般
  - □ 空港・港・道路鉄道関係のインフラ改善は依然課題
- 航空業界
  - □ 国内・国際とも需要増が続く
- 海運業界
  - □ コンテナ船 輸入は堅調、輸出横ばいで推移?
  - □ 不定期船 鉄鉱石上向き
  - □ 新規ターミナルの開業(2012年下期?)まで混乱は続く
- ホテル旅行業界
  - □ 中間層旅行需要の拡大による増加
- 通信、IT業界
  - □ 通信、IT業界の伸びが見込まれる





- 空港・港・道路鉄道関係のインフラ改善は課題 GRU第三滑走路、駐車場の拡張工事は始まるか?
- 貨物量増加傾向 トラック・倉庫も値上がり?
- 人材不足と人件費の値上がりが深刻化
- 中国品の更なる流入が規制を生む
- RADARの取得

### 航空業界

■ 旅客 → 国内・国際とも需要増が続く

- 航空需要増への課題
  - □ 空港インフラ整備
- 貨物 → 日本からの輸入は震災の影響が続く、 輸出は横ばいか?







- ■コンテナ船
  - □国内消費堅調 為替もあり輸入は堅調 輸出は底堅い動きで若干増
- 不定期船
  - □前年比若干増。マーケットは穏やかに回復か
- 課題/問題点
  - □ サントス港 新規コンテナーターミナル開業まで混乱は 継続 (2012年下期~2013年)

### 旅行、ホテル業界



- 中間層旅行需要の拡大による増加?
  - □国内到着便予測 → 7.500万人
  - □ 国外到着便予測 → 890万人

- ビックイベントの経済効果?
  - □ 2014年 サッカー・ワールドカップ
  - □ 2016年 リオ・デ・ジャネイロ オリンピック

# 通信、IT業界



- 通信業界
  - □3G モバイルブロードバンドの高い伸び率が期待される
  - □ LTEのテスト開始

#### ■ IT業界

- □ Tablet型端末の国内生産の開始
- □ 2011年のトレンドはCloud Computing、サーバーの バーチャル化、企業内SNS
- □ Apple社のiCloudのサービス開始
- 課題、問題点
  - □通信、IT技術者の確保 → 技術者不足、人件費の高騰

### 情報提供会社一覧

Blue Tree Hotels - Sumico Hirose Eishin Logistica - Masaharu Taniguchi JAL - Quengo Kanatani K Line Brasil - Kenji Hatakeyama MOL Brasil - Kiyotaka Teramoto Nippon Express do Brasil - Ryo Wada NTT do Brasil - Yukio Adachi NYK Line do Brasil - Junichi Kawate Sankyu - Toru Morita Suzuyo Brasil - Erika Murata UBIK - Luis M. Kibe Yacon - Teruaki Yamashita